



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社JCU

上場取引所

東

コード番号 4975

URL <https://www.jcu-i.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 木村 昌志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営戦略室長

(氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,037	19.0	2,802	40.4	2,845	27.2	2,024	34.2
2025年3月期第1四半期	5,912	13.1	1,995	44.7	2,237	61.7	1,508	59.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 715百万円(△70.9%) 2025年3月期第1四半期 2,463百万円(68.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	81.25	—
2025年3月期第1四半期	59.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	52,367	47,556	90.8
2025年3月期	54,841	47,812	87.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,556百万円 2025年3月期 47,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	37.00	—	39.00	76.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	41.00	—	41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	9.1	5,170	10.8	5,200	4.4	3,600	6.3	144.46
通期	28,500	0.5	10,700	1.8	10,800	△1.1	7,400	△1.3	296.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	26,529,949株	2025年3月期	26,529,949株
2026年3月期1Q	1,608,714株	2025年3月期	1,608,714株
2026年3月期1Q	24,921,235株	2025年3月期1Q	25,332,674株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間における国内経済は、個人消費は消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用環境や企業収益の改善などにより景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。製造業では、弱含んでいた電子部品や生産用機械に持ち直しの動きが見られ、生産活動は一進一退の状態推移しております。企業の投資状況は、製造業、非製造業ともに堅調に推移しており、デジタル化を中心に持ち直しの動きが見られております。

海外では中国において、各種政策効果により個人消費は一時的に持ち直したものの、景気は足踏み状態となりました。製造業は米国との通商問題による一時的な需要増加に伴い、堅調に推移いたしました。欧米諸国においては、一部の地域で足踏みが見られるものの、インフレ圧力の緩和を受け景気は持ち直してまいりました。今後につきましては、引き続き米国の政策動向による影響や中東地域をめぐる情勢などに注視が必要な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス産業において、在庫調整が一巡したとみられるスマートフォンやパソコンをはじめとする様々な高機能電子デバイスは堅調に推移し、各種製品の出荷台数が増加いたしました。自動車産業は中国において、各種政策効果により需要が押し上げられたため、生産台数は増加いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	5,912百万円	7,037百万円	19.0%増
営業利益	1,995百万円	2,802百万円	40.4%増
経常利益	2,237百万円	2,845百万円	27.2%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,508百万円	2,024百万円	34.2%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンやパソコンをはじめとする様々な高機能電子デバイス向けプリント基板及び半導体パッケージ基板の需要が好調に推移し、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

台湾 スマートフォンやサーバーなど高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が緩やかに拡大したため、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

韓国 半導体市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により半導体パッケージ基板の需要において緩やかな回復基調が継続し、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

装飾分野

日本 デザイントレンドの変化に伴う薬品需要の低下もあり、薬品売上高は前年同期比で減少いたしました。

中国 各種政策効果により需要が押し上げられたことで自動車の生産台数は増加したものの、当社が対象とする自動車部品の需要が低下したため、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移いたしました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	5,375百万円	5,971百万円	11.1%増
セグメント利益	2,178百万円	2,843百万円	30.5%増

(装置事業)

受注案件が予定通り進行したことで売上高は増加いたしました。大型案件の新規受注が減少したため受注高及び受注残高は減少いたしました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	536百万円	1,065百万円	98.5%増
セグメント利益	51百万円	204百万円	297.3%増
受注高	477百万円	364百万円	23.8%減
受注残高	4,190百万円	618百万円	85.2%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,474百万円減少し、52,367百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金、売掛金の減少により2,783百万円減少し、37,439百万円となりました。

固定資産は、主に建設仮勘定の増加により309百万円増加し、14,927百万円となりました。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,218百万円減少し、4,810百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少により2,220百万円減少し、4,127百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が増加したものの、退職給付に係る負債の増加により2百万円増加し、683百万円となりました。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少により前連結会計年度末に比べ256百万円減少し、47,556百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、電子分野向け薬品は、半導体関連市場における、AIやIoTの普及及び自動車の自動運転など様々なデジタル技術の革新に伴い、中長期的には当社事業に関連するプリント基板、半導体パッケージ基板の需要が拡大すると予想されます。一方、装飾分野向け薬品は、主な対象となる自動車部品において、デザイントレンドの変化や電気自動車の普及による需要の低迷が影響しており、今後も横ばい基調で推移するものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社グループは中長期の方向性として「2035年に目指す姿」を「独自の強みを最大限に活かし、環境や社会に貢献することで、社会とともに成長し続けるグローバル企業」と定め、日々変化する外部環境に対応しつつ、常に技術・サービス体制を強化していくことで、社会価値と経済価値の追求による企業価値向上を図ってまいります。

また、これを実現するため、当社グループは中期経営計画「JCU VISION 2035 -1st stage-」（2025年3月期～2027年3月期）を策定し、「成長分野への積極的な投資」、「経営基盤の強化」、「DX推進によるデータの利活用」、「既存市場における収益性強化」、「サステナビリティ経営の推進」及び「人的資本、知財・無形資産の活用」を基本方針に、取り組みを推進してまいります。2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の数値から修正等はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,046	24,578
受取手形	1,714	2,985
売掛金	8,324	6,445
契約資産	356	270
有価証券	66	-
商品及び製品	1,496	1,466
仕掛品	106	145
原材料及び貯蔵品	711	780
その他	1,441	805
貸倒引当金	△42	△38
流動資産合計	40,223	37,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,401	3,238
機械装置及び運搬具（純額）	1,025	945
工具、器具及び備品（純額）	839	845
土地	915	915
リース資産（純額）	21	19
建設仮勘定	5,626	6,214
有形固定資産合計	11,830	12,179
無形固定資産		
その他	135	245
無形固定資産合計	135	245
投資その他の資産		
投資有価証券	1,402	1,525
繰延税金資産	798	539
その他	451	437
投資その他の資産合計	2,652	2,502
固定資産合計	14,617	14,927
資産合計	54,841	52,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2025年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,934	763
電子記録債務	407	619
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	91	75
リース債務	14	14
未払法人税等	2,065	818
賞与引当金	407	233
工事損失引当金	-	4
その他	1,126	1,297
流動負債合計	6,347	4,127
固定負債		
長期借入金	30	15
リース債務	21	18
退職給付に係る負債	146	166
繰延税金負債	161	165
資産除去債務	285	283
その他	34	34
固定負債合計	680	683
負債合計	7,028	4,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281	1,281
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	44,060	45,113
自己株式	△4,975	△4,975
株主資本合計	41,589	42,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304	384
為替換算調整勘定	5,918	4,530
その他の包括利益累計額合計	6,223	4,914
純資産合計	47,812	47,556
負債純資産合計	54,841	52,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
売上高	5,912	7,037
売上原価	1,995	2,262
売上総利益	3,916	4,774
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	605	629
賞与	181	187
退職給付費用	38	53
減価償却費	132	158
その他	963	943
販売費及び一般管理費合計	1,920	1,972
営業利益	1,995	2,802
営業外収益		
受取利息	55	23
受取配当金	19	23
為替差益	171	-
助成金収入	1	31
貸倒引当金戻入額	1	1
その他	6	2
営業外収益合計	255	82
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	-	31
持分法による投資損失	11	2
その他	1	3
営業外費用合計	13	39
経常利益	2,237	2,845
特別利益		
固定資産売却益	0	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	2,236	2,855
法人税、住民税及び事業税	492	635
法人税等調整額	235	195
法人税等合計	728	830
四半期純利益	1,508	2,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,508	2,024

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
四半期純利益	1,508	2,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	79
為替換算調整勘定	921	△1,386
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△1
その他の包括利益合計	955	△1,308
四半期包括利益	2,463	715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,463	715

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,375	536	5,912	—	5,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,375	536	5,912	—	5,912
セグメント利益	2,178	51	2,230	△234	1,995

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△234
合計	△234

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,971	1,065	7,037	—	7,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,971	1,065	7,037	—	7,037
セグメント利益	2,843	204	3,047	△245	2,802

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△245
合計	△245

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	191百万円	223百万円

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2025年 8 月 7 日開催の取締役会において、会社法第165条第 3 項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

当社では、2024年 5 月 10 日に開示いたしました2025年 3 月期から2027年 3 月期を対象とする中期経営計画「JCU VISION 2035 - 1st stage-」において、株主還元方針を

- ・総還元性向：50%目安
- ・安定的な増配
- ・機動的な自己株式取得の検討

としており、今般、上記方針に従い、自己株式の取得と消却を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類

普通株式

(2) 取得し得る株式の総数

600,000株 (上限)

(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 2.41%)

(3) 株式の取得価格の総額

1,500,000,000円 (上限)

(4) 取得期間

2025年 8 月 8 日～2026年 3 月24日

(5) 取得方法

東京証券取引所における市場買付

3. 消却に係る事項の内容

(1) 消却する株式の種類

普通株式

(2) 消却する株式の数

上記 2. により取得した自己株式の全数

(3) 消却予定日

未定